

ステンレス製  
ワイヤーリング仕様

# 落石発生源対策 クラッシュネット工法

急峻な斜面からの石の搬出は、過酷で危険な作業です。

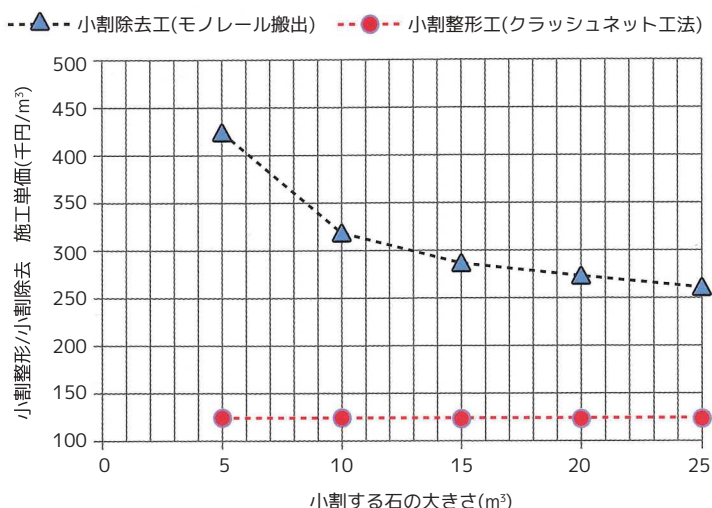
「クラッシュネット工法」では、石を移動させずにその場で被覆したワイヤーネット内で小割りし、そのまま斜面に残置します。

したがって危険な搬出作業は不要となり、工事費の縮減や安全性の向上を図ることができます。



- ワイヤーネットはステンレス製で耐久性に優れているため、小割整形後、そのまま斜面に残置することができます。
- 小割した石の搬出作業を行わないため、施工時の安全性が向上します。
- 個々の部材が計量なため、ワイヤーネットの敷設に際し大がかりな仮設等は必要ありません。
- 搬出作業に伴うモノレール等の設置も不要のため、コストの縮減や工期の短縮を図ることができます。

## 経済性比較



## 比較条件

### 従来工法

- モノレール平均運搬距離 200m
- 供用日数 90日

### クラッシュネット工法

- モノレールなし
- アンカーピンによる固定有り

小規模な小割ほどクラッシュネット工法が安価

## 斜面对策研究会

事務局

〒514-0823 三重県津市半田160番地 アルコ(株)内  
TEL 059-213-8811 FAX 059-213-8880

研究室

〒699-0555 島根県出雲市斐川町坂田1300 (株)斜面对策研究所  
TEL 090-7121-9206 FAX 0853-63-0656

## Ⅰ 施工手順

① 転石をネットで巾着状に被覆



② 転落防止用アンカー取り付け



③ 転石とワイヤーネットを一体化するためのアンカーピンを打設 (非小割領域)



④ ネット内で安定形状に小割整形



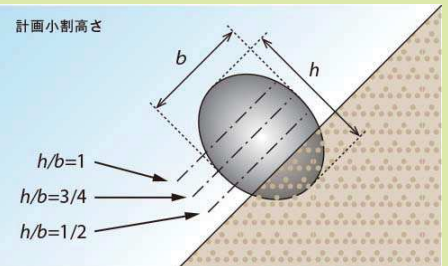
⑤ 完了



### 小割の目安

高さ  $h$  の半分以上をはつることで地震時転倒安全率 " $F > 1.0$ " を確保できる

計画小割高さ



はつり高さと地震時転倒安全率

$\theta$ (°)	$h/b$		
	1	3/4	1/2
30	1.26	1.67	2.51
35	1.05	1.40	2.11
40	0.88	1.18	1.77
45	0.74	0.99	1.48
50	0.61	0.82	1.22

## Ⅱ 施工実績例

島根県出雲県土整備事務所

出雲市木村地内

施工前



施工後



概要 被覆面積：5.5m<sup>2</sup> リング径：35cm

島根県出雲県土整備事務所

出雲市中山東地区

施工前



ネット被覆



施工後



概要 落石防護網に落下した転石の安定化